

## 活動報告及び特別講演会 報告

2024年7月26日(金)にホテル札幌ガーデンパレスにて、2024年度水元技術士会活動報告及び特別講演会を開催しましたので、その概要を報告します。今回も前回に引き続き遠隔地の方にも広く参加していただけるようWeb併用でのハイブリット形式で開催いたしました。Webでの参加も関西及び関東方面から21名の方が参加され、会場には来賓として日本技術士会北海道本部の金秀俊本部長、室蘭工業大学同窓会会長の高宮則夫さまをお招きして総勢33名での開催となりました。

### ■活動報告会(写真-1)

初めに水元技術士会の田中輝幸会長が開会挨拶をされた後、令和5年度活動報告、令和6年度活動計画及び



写真-1 田中会長挨拶

予算を樋詰幹事長が報告されました。続いて今年度の役員改選の内容が発表されました。

### ■特別講演会(写真-2)

本講演会は、室蘭工業大学MONOづくりみらい共創機構の後援をいただき開催されました。講演



写真-2 会場の様子

は、室蘭工業大学の創造系領域・建築学ユニット准教授 金志訓氏から、「脱炭素社会への貢献」～セ



写真-3 講演会の様子

メント・コンクリート分野での役割～と題して、行われました(写真-3)。

講演の概要は以下の通りです。

・CO<sub>2</sub>削減は最近注目されているが、古くから研究されていた分野である

・カーボンニュートラルはCO<sub>2</sub>を削減させるだけでなく、固定したり封じ込めたりすることで大気中に排出されるCO<sub>2</sub>をゼロにする政策

・セメント・コンクリート材料分野は非常に多くの資源を使う材料であり、使用する量も多いため地球全体に対するCO<sub>2</sub>排出の割合として影響力が大きい(全世界の排出量の8%に相当する)

・削減の方法は①コンクリートの長寿命化、②セメント系材料の代替材料、③CO<sub>2</sub>回収・貯留があるが、このうち②セメント系材料の代替材料の研究が今取り組んでいるテーマ

・原料代替の1つ目は成分が対応する産業廃棄物、副産物を原材料として使う(現在年間3,000万トンの副産物を利用している)

・原料の代替の2つ目は、混合セメント(高炉スラグ、フライアッシュなど)であり、副産物を混合してセメント使用量を削減する方法

・3つ目はジオポリマー(アルミノシリケート材料+アルカリ刺激剤+水)

・そのほか、コンクリート混和材として火山灰を使用する研究を実施し、脱炭素型ジオポリマー外装パネルの開発を実施

・地下にある石炭を燃焼させ水素ガスを取り出す際に発生する空洞にスラリーCO<sub>2</sub>を注入することでCO<sub>2</sub>を固定化

といった様々な取り組みを紹介していただきました。

### ■懇親会

続いて日本技術士会北海道本部金秀俊本部長のご挨拶(写真-4)とMONOづくりみ



写真-4 金本部長挨拶

らい共創機構リエゾ

ンオフィス長の鈴木真也特任准教授の乾杯の発声により懇親会がスタートし、新任役員の谷村副会長、熊倉幹事長のスピーチなどを交え、和やかな雰囲気ですべての皆さん懇親されました。